

平成 29 年度 学 校 評 価 表

阿波中学校

項目	具体的努力目標	自 己 評 価		改 善 策	学 校 関 係 者 評 価	
		達 成 状 況	4段階評価		4段階評価	ご 意 見
①豊かな心の育成	○人権教育 道徳教育の充実	○昨年度より人権学習や道徳に真剣に取り組み、生徒の満足度も高い。市人研に向けての取組が良い効果をもたらしている。 ○市人研が終わっても、計画的に人権学習や道徳に取り組んでいる。授業形態を工夫していることも効果があった。 ○授業では求められていることを発言しているが、普段の生活と結びついていない生徒もいる。	A	○来年度も、各学年で計画的に人権学習、道徳を進めていく。 ○学んだことが行動につながられるように、日常生活の中で人権問題に気づけるようにする。 ○家庭と連携し、共に力を合わせて子どもを育てるようにする。	A	○あいさつが生活の基本であり、阿波中の生徒はみんなきちんとできている。 ○チャンス相談や機会を見つけて相談を受けるといった流れの中で、うまく相談できればいい。また、先生の体験談から子どもの相談につながればいい。
	○生徒指導の充実	○ほとんどの生徒がルールを守り、あいさつをして学校生活を送っている。 ○2年生は、悩み事について相談できるかどうかの項目で、昨年度よりポイントが下がっている。 ○一部の生徒の中に、スマホを介したトラブルが発生し、学校に来にくい状況になっている生徒がいる。	B	○ルールを守れていない一部の生徒に対し、全職員で共通理解を図り、指導にあたる。 ○教育相談の機会を増やしていく。 ○生徒に対し、定期的な携帯安全教室を実施し、日常的な指導も継続する。	B	○2年生が悩み事について相談できるかどうかの項目でポイントが下がっているのは、しかる前に生徒の背景や理由を聞いてほしい、という意見との関連があるのか。 ○子どもは親になかなか本当のことを言わない。難しい一面がある。
	○学級活動 生徒会活動の充実	○One委員会、One活動などをきっかけに、生徒会活動が活性化している。人権委員の人権新聞など。 ○学校行事は、3年生と生徒会を中心に意欲的に取り組んでいる。	A	○学校行事の目標やねらいを生徒にはっきり伝える。また、評価もきちんとする。 ○学活の時間を充実させ、何でも話せる学級の雰囲気づくりを図る。それにより、友達同士で悩みを相談できるようにしたり、学級の課題を解決する力を育てたりする。	A	○ボランティア活動は、いきすぎると問題であり、他の学校行事、活動の妨げにならないようにすることも考えるべき。 ○ボランティア活動をきちんとするならば、年度当初にきちんとした計画と予算が必要である。
	○環境・ボランティア 教育の充実	○ほとんどの生徒が清掃にまじめに取り組んでいる。 ○計画に基づいたボランティア活動ができた。	B	○清掃の意義をしっかりと理解させ、真摯に清掃に取り組めるようにする。 ○ボランティア活動の意義を指導するとともに、ボランティア部の活動を活性化し、ボランティア分野でのリーダーの育成を図る。	A	○これだけきれいに清掃ができてい学校は他にない。美しい環境が保たれている。
②確かな学力の育成	○よくわかる 楽しい授業の実践	○8割以上の生徒が意欲的に授業に取り組めており、8割の生徒がわかりやすい授業であると肯定的である。 ○班活動や伝え合いの活動を増やし、生徒が主体的に取り組む授業ができた。 ○ICTを活用した授業、アクティブラーニングを取り入れた授業により、わかりやすい授業を行えた。生徒もよく理解し、係活動もきちんとできた。	B	○家庭学習の時間を確保するための働きかけを行う。(保護者への呼びかけ、部活動の時間の短縮など) ○教師が教材研究の時間を確保できるよう、業務改善を進める。 ○ICT活用の授業について、研修に努める。	B	○阿波中ではさまざまな芸術活動をしている。県下でもトップレベルである。美術部、吹奏楽部、ともにすばらしい結果を出している。 ○職場体験学習は10月にしてほしい。12月は、年末で忙しい職場も多いのではないかな。
	○表現力(コミュニケーション力)の育成	○授業で、教え合う、伝え合う学習に取り組めた。 ○1分間スピーチを実施し、話す力を育成できた。 ○生活記録にテーマを設け、決められたテーマの中で文章を書くことで、文章を書く力が身につけてきている。	B	○授業や学級・学年の活動の中で、自分の思いや考えを伝える場面を設定する。 ○生徒の成功体験を増やすように努める。	A	
	○キャリア教育の充実	○9割以上の生徒が将来の進路について考えることができている。	B	○学校で、家庭で進路について話し合う機会をつくるための授業をしたり、資料を作成して情報提供をしたりする。 ○三者面談の際に必ず話し合う。 ○学年便りで継続的な啓発活動を行う。	B	
③健康・安全教育・食育の推進	○健康でたくましい 体力の育成	○部活動への参加率が高く、どの部もまじめに取り組み、体力をつけることができた。 ○生徒数が減少傾向にあるため、部ごとの人数確保が難しくなっている。 ○夏休みの「健康力アップ30日作戦」の中で、自分で健康目標を立てることができた。その中で、運動不足の解消を目標にした生徒が半数以上いた。	A	○部活動のさらなる充実のために、部活動の数などを検討する必要がある。 ○規則正しい生活習慣を身につけ、自分の健康管理を自分で行えるよう、日頃からの指導に努めるとともに、引き続き「健康力アップ30日作戦」に取り組んでいく。 ○保護者の送迎による登下校が増えてきている。体力向上のためにも、生徒自身の自転車や徒歩での登下校を働きかける。	A	○部活動には力を入れている。なくなる部活動もない。成績も良い。 ○校外バトロールで阿波中生を指導したことは一回もない。
	○安全教育の充実	○「交通マナーが守られているか」という項目では、9割以上の生徒が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答している。 ○機会を捉えて交通安全・生命の大切さについて、伝えることができた。	A	○登下校だけでなく、休日などどんな時でも生徒に危機管理や安全への意識を持たせるような声かけや指導を継続する。 ○生徒の意識を高めるため、交通委員会などで安全マップをつくる。 ○通学路の危険箇所調査結果を広く活用していく。	A	○部活動指導において、専門外の先生が顧問の場合、どうするか。また、小さい子供を持つ先生は大変である。 ○最近、部活動に関するニュースがいろいろある。休養日を増やすことは、部活動に熱心に取り組む生徒のことを考えると難しい。一方で、休養日を増やしてほしい、という保護者の意見もある。
	○食育の充実	○給食センターと連携し、朝食に関するアンケートを実施した結果、朝食の欠食や孤食が多かった。また、体調不良を訴える生徒の中には、朝食を欠食している生徒が目立った。 ○給食に関して、偏食があり、残食も多く、特に野菜を残す生徒が多い。冬場は牛乳を残す生徒が多い。	B	○朝食の重要性について、保健委員会の朝食調べや栄養教諭との連携の授業を通して、引き続き細かな指導を計画的に行い、家庭への働きかけも積極的に行う。 ○放送委員会の放送を通じて、食に関する関心や感謝の心、生活習慣病の視点を踏まえた指導を行う。また、地産地消に関しても同様である。	B	○虫歯と糖尿病が多いのは比例する。 ○AEDの設置場所を生徒は知っているか。また、設置場所によっては、5分以内の対応ができないので、よく考えるべき。使用について、シミュレーションしておくべき。
④ 教 育 特 別 の 支 援 実	○特別支援教育への 理解と推進	○交流学級の生徒が支援学級の生徒に対して優しく接している。 ○支援学級の授業では、どの生徒も真剣に取り組むことができた。 ○個別の指導計画に沿って、計画的に指導できた。	A	○生徒の能力に応じて、交流学級での時間を増やしていく。 ○将来を見据えた適切な進路指導をする。 ○教育支援計画に基づき、保護者や関係機関との連携を密にする。	A	○支援学級の生徒には適切な指導が行われているが、それを全員で共有しているか。 ○普通学級の生徒の中に、特別な支援を必要とする生徒がいるが、どう支援していくか。
⑤ 研 修 の 充 実	○校内研修の工夫 改善と計画的な実施	○人権教育に関する研修は、多くできた。 ○授業交流週間について、改善する必要がある。	B	○出張等で受けた研修については、その内容を口頭で伝えたり、資料を配布したりして全職員に伝わるようにする。 ○お互いに授業参観し、授業研究ができる時間の確保に努める。	A	○長時間労働等を指摘され、厳しい状況もあるが、これから阿波中としてどう改善していくか。
	○OJTの充実	○お互いに支え合い、頻繁に情報交換をしている。 ○ミドルリーダーを中心に、若手教員の育成に努めた。	A	○資料研究の実施に努める。 ○気軽に教え合う、伝え合うことができる職員室の雰囲気づくりに努める。	A	
⑥ 学 校 教 育 の 推 進	○家庭・地域社会 関係機関との連携	○学校行事に多くの保護者の参加を得た。 ○メールの登録者が100%に近づき、連絡手段の中心となってきた。 ○アンケートの回収率が向上している。	B	○生徒を通しての配布文書が保護者に届いていないことがあったので、学校からの情報が確実に伝わるように配慮するとともに、三者面談等で実態を把握し、適切な指導を行う。	B	○土日に学校行事を入れると、何かの部活動の大会と必ず重なる。「生徒にとって」一番になるように、学校行事を平日に実施することを考えることも必要。
	○学校評価の充実	○学校評価研修に全職員で取り組み、現状と達成状況を把握し、次年度の課題と改善策を考えることができた。	A	○次年度の年度当初に全職員でこの用紙の内容を確認し、本校教育の質の向上をめざして各項目の取組を進める。	A	